



どうして一番先に無くなるのか、考えたことがありますか？

好きな色から減っていくのは、あなたにお気に入りの色があるから。あなたの目が見えるから。知ってください。アイバンクのこと。角膜移植によって視覚を取り戻すことができる人がいること。

現在、角膜疾患による視覚障害者の方は約3万5千人。そのうち5千人以上の方が角膜移植の順番を待っておられます。角膜移植とは、生前に登録されていた方がお亡くなりになられたときに、目の不自由な方の為に角膜（黒目の表面を覆っている透明の膜）を提供していただくこと。そしてそのお手伝いをしている機関がわたしたちアイバンクです。角膜を提供していただくための登録には、年齢や視力の制限はありません。最寄りのアイバンクへどうぞお問い合わせください。



財団法人 日本アイバンク協会  
Japan Eye Bank Association  
<http://www.j-eyebank.or.jp/>